

# 福岡市でみられる鳥類

## 令和2年度に福岡市で確認された鳥類

- 福岡市では、令和2年度に鳥類の調査を行いました。
- 調査の結果、19目57科235種の鳥類が確認されました。ここでは、今回の調査で確認された鳥類を紹介します。

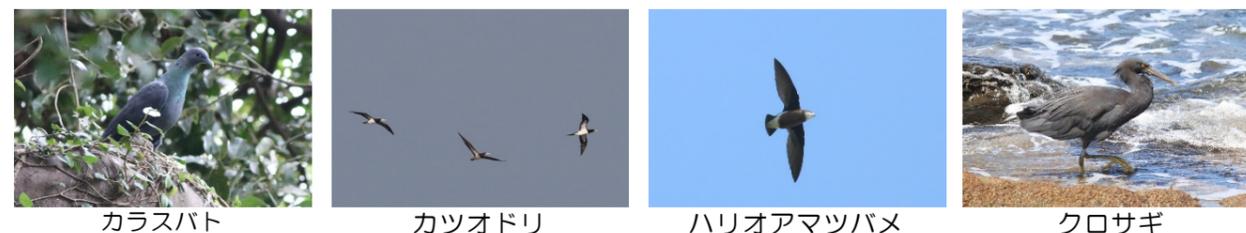
## 海洋でみられる鳥類

海の沖合は、海岸とはまた違った環境になっています。博多湾の沖合では、オオミズナギドリが生息しています。また、冬から春にかけては、暖かい九州の海に冬鳥として、オオハムやシロエリオオハム、ヒメウ、ハジロカイツブリ、シノリガモ、クロガモなどの珍しい海鳥がみられます。海洋域は、博多湾内・外海ともに冬季から春季にかけて、多くの鳥類が飛来する様子が観察されます。



## 島でみられる鳥類

福岡市には、能古島・小呂島・玄界島などの島々があり、島特有の地形には豊かな自然環境が残されていることから、珍しい野鳥が観察されることがあります。令和2年度の調査では、玄界島が福岡市内で唯一の生息地となっているカラスバトを四季全てで確認できました。そのほかにも、ハヤブサの幼鳥や南方系の鳥であるカツオドリが確認できました。また、小呂島の海域では、飛翔するオオミズナギドリ、秋の渡りの時期には、チゴハヤブサなどが確認されています。能古島では、ハリオアマツバメ、クロサギが海岸でみられ、樹林地ではサシバの幼鳥が確認されています。



## 砂浜や岩礁の海辺でみられる鳥類

西区や東区には、砂浜や岩礁が広がる海岸線が延びています。護岸のない、自然的な海岸には防風林としてマツが植えられ、独特な海岸性の植物（海浜植生）が見つかります。岩礁には、春から夏にかけて、クロサギやチュウシャクシギ、秋から冬にかけては、ヒメウやセグロカモメ、カンムリカイツブリが観察されています。砂浜ではシロチドリやイソシギ、海岸の上空にはハヤブサやミサゴが観察されています。また、防風林では、センダイムシクイ、キクイタダキ、ビンズイなどの鳥たちが観察されます。



## 港付近でみられる鳥類

博多湾と福岡の街との強い結びつきを示す港湾には、平成元年6月に福岡市制100周年記念事業の一環で「市の鳥」に制定されたユリカモメが毎年飛来します。その他には、コアジサシやウミネコ、ウミアイサ、カンムリカイツブリといった海鳥が観察されます。



## ●市街地でみられる鳥類

福岡市中心にある南公園や鴻巣山、舞鶴公園、大濠公園は、たくさんの鳥たちの重要な立寄り場所になっています。

多くの人で賑わう街の中にありながら、森や池などがある自然豊かな公園には、春から夏にかけてハチクマやツツドリ、コマドリ、キビタキ、ササゴイなどが観察され、秋から冬にはコムクドリ、キクイタダキ、イカルの他、ユリカモメ、ホシハジロ、ヒドリガモ、キンクロハジロなどの冬鳥が観察されます。

住宅地の中心にある鴻巣山では、フクロウの繁殖が確認されています。



ハチクマ



キビタキ



ササゴイ



コムクドリ



キクイタダキ



イカル



カワセミ



フクロウ（幼鳥）

## ●里山・田園でみられる鳥類

糸島半島に続く西区の広大な田園風景や室見川が流れる脊振山のふもと一帯は、福岡市を代表する里山環境です。また、南区には花畑園芸公園があります。

春から夏にかけては、広い草原や畑・田んぼでコチドリ、タシギや、ダイサギ、アマサギなどのサギの仲間が食べ物を探す様子が観察されます。秋から冬にかけては、アトリの群れ、狩りをするチョウゲンボウが観察されるほか、まれにナベツルやムラサキサギといった珍しい鳥が観察されることもあります。



コチドリ



タシギ



アマサギ



アトリ



チョウゲンボウ



ナベツル



ムラサキサギ



キジ

## ●山でみられる鳥類

福岡市には、標高が1000mを超える脊振山、標高が低い油山や立花山などの山があり、多くの鳥類の休息場所や繁殖場所になっています。

福岡市の南西側には脊振山系がそびえ、その山頂付近にブナやアカガシの原生林が残り、曲淵ダム、脊振ダムといった大きな人工池を擁しています。

春から夏にかけてカッコウ、ホトトギス、ジュウイチ、サシバ、アカショウビン、ヤイロチョウ、コシアカツバメ、オオルリなどが観察され、秋から冬には厳しい冬をあたためた地方で過ごすためにノスリやオシドリなどの冬鳥たちが飛来します。



アカショウビン



コシアカツバメ



オオルリ



ミソサザイ



アオゲラ



ノスリ



オシドリ



ミヤマホオジロ

## ●河川でみられる鳥類

福岡市を流れる代表的な河川として、多々良川や那珂川、室見川があります。

河川周辺で観察されるアオサギやコサギ、カワセミなどは、福岡市で一年中みられる鳥類（留鳥）ですが、コチドリやツリスガラなど他の鳥たちの多くは、採餌や休憩、寒い冬を越すために一時的に飛来してきたものが多いようです。



アオサギ



コサギ



ツリスガラ



カワセミ



タシギ



カワウ



ササゴイ



イカルチドリ

## ●貴重・希少な鳥類

令和2年度調査の結果、貴重・希少な鳥類も多く確認されました。

貴重・希少な鳥類とは、環境省のレッドリストや福岡県のレッドデータブックなどに掲載されている種です。

							
オオハクチョウ	ツクシガモ	オシドリ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カンムリカイツブリ	カラスバト	アオバト
							
シロエリオオハム	ヒメウ	ササゴイ	アマサギ	チュウサギ	クロサギ	ヘラサギ	クロツラヘラサギ
							
ナベツル	ツツドリ	タゲリ	イカルチドリ	シロチドリ	ミヤコドリ	セイタカシギ	ダイシャクシギ
							
ハマシギ	ズグロカモメ	オオセグロカモメ	コアジサシ	ミサゴ	ハチクマ	ハイイロチュウヒ	ハイタカ
							
オオタカ	サシバ	ノスリ	フクロウ	アオバスク	アカショウビン	ヤマセミ	ブッポウソウ
							
ハヤブサ	チゴモズ	ツリスガラ	コシアカツバメ	センダイムシクイ	オオヨシキリ	キビタキ	オオルリ